



# 助川議員の<sup>こころ</sup>をしっかりと受け継ぎ 日本共産党新人男性<sup>32歳</sup>を議会へ

**若さバツグン**  
スピーカー付自転車とスニーカーで軽快に

日本共産党の新人男性は、スニーカーにスピーカー付自転車で政策の訴えをしています。さわやかな青年が、新しい野田をつくる力になります。

**出れば最年少議員**

今の野田市議会には、20代、30代の議員がいません。日本共産党の新人男性は32歳。議会に出れば、もちろん最年少となります。「若い世代の声を市政に届けるためにも」とがんばっています。



**行動力バツグン**

## 信号機改善

日本共産党の新人男性は、住民のみなさんから寄せられた声を、野田警察にすぐ届け、「湯の郷」そばの押しボタン式信号機の改善を約束させました。

## 段差改善

白鷺梅郷住宅の方から「歩道の段差で手押し車が通りづらい」という声が寄せられ、さっそく市の担当課と交渉しました。早期の改善をめざして引き続きがんばります。

## 草ボウボウを解決

昨年末、「空き地の枯れ草に火がついたら大変」という声が寄せられ、さっそく消防署や市役所に草刈を要望。市当局から都内の地主さんに連絡してもらい、草刈が行われました。

**「人が大事にされる社会を」が原点  
助川議員と同じ志**

日本共産党の新人男性は、保障される基本給が5万円、サービス残業あたりまえという職場で働いてきました。「青年が使い捨てられるような社会を変えたい、人が大事にされる社会にしたい」と、日本共産党に加わりました。みなさんに愛されていた助川議員と同じ志です。



**これまで助川議員にお寄せいただいたご支援を  
エネルギーあふれる日本共産党新人男性へ**